

シンポジウム「海と共に生きる」

～大震災からの復興を目指して～

日時：平成23年8月23日（火） 14:00-17:30
（13:30 受付開始）

場所：ホテルメトロポリタン仙台 3階「曙」
（仙台市青葉区中央1丁目1番1号）

定員：200名（先着順・入場無料）

第Ⅰ部 基調講演

（パート1）

『海の復権と今後の地域活性化に向けたメッセージ』

●瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター 北川 フラム

（パート2）

『震災復旧・復興に向けた取組み』

●国土交通省・水産庁・日本財団 他

第Ⅱ部 パネルディスカッション

『今後の海のまちづくりの可能性、将来展望』

- パネリスト
- | | |
|----|------------------------------|
| 前田 | 英比古（株ヤマニシ代表取締役社長） |
| 須能 | 邦雄（石巻魚市場株代表取締役社長） |
| 高橋 | 和志（株高橋工業代表取締役） |
| 鎌田 | 由美子（東日本旅客鉄道株事業創造本部地域活性化部門部長） |
| 佐藤 | 敬（宮城県土木部技監兼次長） |
- モデレーター
- | | |
|----|----------------|
| 鈴木 | 素雄（河北新報社論説委員長） |
|----|----------------|

■主催：国土交通省・水産庁 ■後援：公益財団法人 日本海事センター ・ 河北新報社

※地図、参加申込方法等について詳しくは裏面をご覧ください。

開催趣旨

東北地方太平洋岸は海を中心とした「まちづくり」がなされ、漁業・水産加工業・造船業・港運業・海運業に関係する施設が集積し、地域の人々にとってもこうした産業が雇用の場として重要な役割を果たしております。

今回の東日本大震災により甚大な打撃を受けた同地域の復興にあたって、これら海に関連する産業を通じた「海からの復興」に積極的に取り組むことが必要であるとの視点にたち、様々な分野の人々の英知を持ち寄り、どのように復興を目指すかについて皆様と一緒に考える機会としたいと考えております。また、同地域が今回の震災を乗り越え「海からの復興」を果たすことは、海洋国家日本の将来にとって重要な意味を持つものと考えております。

プロフィール

◇基調講演

北川 フラム (きたがわ ふらむ)
(瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)

東京芸術大学美術学部卒業。「アントニオ・ガウディ展」、「アパルトヘイト否！国際美術展」、「フェーレ立川アートプロジェクト」等をプロデュース。地域づくりの実践として、2000年にスタートした「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」(2009年度オーライ！ニッポン大賞グランプリ〔内閣総理大臣賞〕他受賞)、「水都大阪」(2009)、「にいがた水と土の芸術祭2009」等。2006年度芸術選奨文部科学大臣賞。2007年度国際交流奨励賞・文化芸術交流賞受賞。本年、氏が総合ディレクターを務める瀬戸内国際芸術祭実行委員会が第4回海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)を受賞。

◇パネルディスカッション パネリスト

前田 英比古 (まえだ ひでひこ)
(株ヤマニシ代表取締役社長)

1971年東北学院大学経済学部卒業、株式会社ヤマニシ入社、2003年代表取締役社長に就任、現在に至る。

高橋 和志 (たかはし かずし)
(株高橋工業代表取締役)

1982年3月長崎造船大学大学院修士課程修了。同年4月、家業の株高橋造船鉄工所入社。1985年3月同事業所廃止により退社。同年6月株式会社高橋工業を設立、代表取締役に就任、現在に至る。

須能 邦雄 (すのう くにお)
(石巻魚市場株代表取締役社長)

1968年東京水産大学(現東京海洋大学)漁業学科卒業後、1年専攻科へ。1969年大洋漁業入社。トロール部で北洋サケマス事業に従事。船団長も務めた。シアトル2年・サハリン3年の駐在を経験。平成6年石巻魚市場顧問に、13年から現職。

鎌田 由美子 (かまだ ゆみこ)
(東日本旅客鉄道株事業創造本部地域活性化部門部長)

1989年東日本旅客鉄道株入社。2001年に本社事業創造本部「立川駅・大宮駅開発プロジェクト」においてエキナカビジネス(ecute)を手がける。2008年より地域活性化・子育て支援事業に携わる。ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006を受賞。いばらき大使。

佐藤 敬 (さとう たかし)
(宮城県土木部技監兼次長)

1991年運輸省(現国土交通省)入省。航空局、港湾局、九州地方整備局、中部地方整備局、東北地方整備局などを経て、2010年4月宮城県土木部次長に就任、現在に至る。

鈴木 素雄 (すずき もとお)
(河北新報社論説委員長)

立教大学法学部卒。1980年、河北新報社入社。報道部副部長、編集局編集委員、山形総局長などを経て、論説委員。2011年4月、論説委員長。

◇パネルディスカッション モデレーター

【参加申込方法】

平成23年8月16日(火)必着

ACCESS

◆JRご利用の場合:仙台駅3階改札から階段・エスカレーターで2階コンコースへ、2階正面の出口(西口)から歩道橋(ペDESTリアンデッキ)に出て左手にお進みください。

○参加を希望される方は、下記【参加申込書及び参加証】に必要事項をご記入の上、**FAX又はE-mail**で、「シンポジウム『海と共に生きる』参加登録」係までお申込み下さい(電話での受付は不可)。※1名様につき1枚ご記入下さい。なお、本状は受付終了後、参加証として返信致しますので、**当日は必ず参加証(受付番号入り)をお持ち下さい。**

○参加申込者多数の場合、事前登録をされていない方、当日参加申込をされる方などは、ご入場をお断りする場合がございます。また、参加者の登録は先着順での受付とさせていただきます。予めご了承下さい。
○ご記入頂いた個人情報、参加証の発送及び当シンポジウムの運営管理の目的のみに使用致します。

【申込・お問合せ先】「シンポジウム『海と共に生きる』参加登録」係

電話・FAX: 022-362-4524 E-mail: umisimpo823@bz01.plala.or.jp

※電話は土日を除く10:00~17:00、FAX・E-mailは24時間対応。

【参加申込書及び参加証】※当日は本状(受付番号入り)を受付にご提示下さい。

ふりがな お名前 :	性別: 男・女	受付番号
TEL:	FAX:	
E-mail :		
会社名・所属団体等:		

